

研修 評価

研修名	日本看護協会委託研修（医療安全管理者養成研修プログラム） 医療安全管理者（演習）安全文化の醸成				
領域	医療安全研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：6,160 円
対 象	学習段階レベル（医療安全管理者養成研修オンデマンド視聴終了者） 募集数(60人)応募数(43人)参加数(41人)会員数(40人)非会員数(1人)				
日 時	令和 5 年 11 月 2 日（木曜日） 10：00 ～16：30				
ねらい（目標）	<p>安全管理者業務の遂行にむけ、既習の知識・技術をもとに、より実践的な学びを深める。</p> <p>1) 医療機関内において、医療事故事例やヒヤリ・ハット事例の報告と共有を効果的にするための体制の整備</p> <p>2) 医療事故の発生予防や再発防止を効果的にする体制の確立</p> <p>3) 発生予防や再発防止を目的とするため、医療事故やヒヤリ・ハット報告者を非難しない組織文化の醸成</p>				
講 師	関根 隆子 支援者：坂内 広恵				
内容・方法	<p>○講義：安全文化の醸成 患者・家族の医療参加</p> <p>演習：事例をもとに医療安全の体制整備や組織文化の醸成方法を検討</p> <p>○研修方法</p> <p>・講義・演習：事例をもとにグループで分析・問題点の抽出・対策の立案を実施</p>				
結果・評価 (受講者の意見感想)	<p>○評価方法：アンケート 回答数は 23 名（回収率 56%）</p> <p>・理解度：「理解できた」「ほぼ理解できた」23 名、100%</p> <p>・自己課題の達成度：「達成できた」「ほぼ達成できた」23 名、100%</p> <p>・受講者の満足度：「満足できた」「ほぼ満足できた」23 名、100%</p> <p>80%以上を達成基準と定めており、研修のねらいは達成できたと判断する。</p>				
企画の評価	<p>○目標・内容、プログラムの妥当性</p> <p>・ねらいとの整合性は 23 名、100%であった。80%以上を達成基準と定めており、医療安全研修としてこの企画は有効であった。</p> <p>○事前準備・当日の運営など</p> <p>・開始前に講師とグループワークの進行に関して打ち合わせを行い、共通認識のもとで演習を進められた。</p> <p>・各グループに配布：模造紙 2 枚・太マジック・時系列関連図（提出用）1 枚</p> <p>・成果物をホワイトボードに掲示（1 グループ 1 ホワイトボード）</p> <p>・終了前に時系列関連図と事例分析シートを回収しコピー・配布</p> <p>・修了証は、講師と委員からグループごとに一人ずつ手渡しとした。</p>				
課 題	<p>・講師との事前打ち合わせ継続</p> <p>・実際に GW で作成した時系列関連図と事例分析シートのコピー・配布継続</p>				
担当者	医療・看護安全委員				